

率直な意見交換を通じて関係を強化

～ 海技教育機構各校と当協会内航海運事業者の連絡会を開催～

当協会は、2008年7月に「人材確保タスクフォース(TF)」を設置し、優秀な日本人船員(海技者)確保のための広報活動を行っているが、内航関係については2010年1月から同TFの中に「内航ワーキンググループ(WG)」を置いて対応を進めている。

この度、当協会は、内航WGが中心となって、海技教育機構の海上技術学校、海上技術短期大学校、及び海技大学校の先生と、当協会会員の内航海運事業者がお互いの現状等について率直に意見交換する「連絡会」を神戸と東京で開催した。

連絡会の開催は昨年につき2回目で、会合ではまず内航海運事業者が自社の現状や船員事情等について説明。続いて、各学校が学生の状況や近年の就職状況等について報告した。その後、双方の説明を踏まえた意見交換が行われ、連絡会終了後には懇親会を開催した。

当協会は来年度以降も連絡会の実施を継続していく。

【神戸会場（於 海技大学校会議室）】

日時：2011年6月9日(木) 15:00 ～

出席：【海技教育機構】

口之津海上技術学校、波方海上技術短期大学校、海技大学校、海技教育機構

【当協会】

9社11名、事務局



神戸会場（連絡会）



神戸会場（懇親会）

【東京会場（於 当協会会議室）】

日時：2011年6月14日(火) 15:00 ～

出席：【海技教育機構】

小樽・館山海上技術学校、宮古・清水海上技術短期大学校、海技教育機構

【当協会】

13社17名、事務局



東京会場（連絡会）



東京会場（懇親会）